

令和7年度 卒業生アンケート調査—就職先調査の実施報告—（看護学科）

1. 調査名・目的

1) 調査名：「令和7年度 仙台青葉学院短期大学看護学科 就職先調査報告」

2) 調査目的

- (1) 本学卒業生の能力・資質に関する就職先からの評価
- (2) 本学のカリキュラムや教育手法の見直し・工夫等に活用

2. 調査対象・方法等

1) 対象者：本学を令和6年3月に卒業し、就職した施設の直属の上司または管理者

対象施設：40 対象者 71 名

2) 調査方法：Google Forms を用いた WEB 上での質問紙調査

3) 調査期間：令和7年5月19日～6月30日

4) 調査項目

(1) 調査項目

本学のディプロマ・ポリシーと学士課程共通の学修成果である指針を参考に「知識」「コミュニケーション」「数量的スキル」「情報リテラシー」「論理的思考力」「問題解決能力」「自己管理能力」「チームワーク・リーダーシップ」「倫理観」「生涯学習力」「統合的能力」について作成した26項目。

(2) 回答方法

「5：とてもそう思う」「4：ややそう思う」「3：どちらともいえない」「2：あまりそう思わない」「1：そう思わない」の5段階。本学卒業生の能力・資質について、本学以外の他の教育機関卒業生と比較する相対評価とし、卒業生が複数在籍の場合には個別の評価を求めた。

3. 結果

1) 回答は33件（71名中）、回収率は46.4%。（昨年度27件、回収率32.5%）

2) 項目別結果（次ページのグラフ参照）。

- ・26項目の平均：3.4（昨年度3.4）
- ・3.5以上の項目：8項目
- ・4.0以上の項目：倫理観「個人情報保護や守秘義務を遵守することができる」(4.0)
- ・3.0未満の項目：情報リテラシー「必要な情報をデータベースや文献・図書から検索し活用できる」(2.9)、論理的思考力「一つの物事を複数の側面から考えることができる」(2.9)

4. 考察・教育内容への反映

- ・26項目の平均は3.4と昨年度と同じであり、他の教育機関卒業生と同程度の評価と考えられる。
- ・倫理観3項目は良好な評価を得ており、科目履修等を通した倫理観育成の効果と考える。
- ・情報リテラシー1項目と論理的思考力1項目は共に2.9と低い評価となった。情報リテラシーの「資料や文献の活用」と論理的思考の「多角的な考察」とは、通底していると思われる。論理的思考力は特に看護過程展開において必須となる。学生個々の理解度に対応した指導を継続し、一層の強化を図る。
- ・昨年度より回収率は上がっているが、回収率が維持できるように対策を講じる。

卒業生の能力・資質の評価 令和7年度（令和6年3月卒業生）

